

知 事 本 局

第1 審 査 の 概 要

1 審査の対象

(1) 一般会計

(2) 財 産

2 実地審査場所

知 事 本 局

3 審査の方法

知事から提出された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、知事本局執行分を審査した。

審査に当たっては、

(1) 決算計数は、正確であるか

(2) 予算の執行は、適正かつ効率的になされているか

(3) 財産の取得、管理及び処分は、適正に処理されているか

などに主眼を置き、決算書等及び証拠書類の照合等を行うとともに、関係部局から決算についての説明を聴取するなどの方法により審査を実施した。

第2 審 査 の 結 果

1 決算計数について

審査に付された一般会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書の計数は、誤りのないものと認められる。

2 事業執行等について

特に意見を付する事項はない。

第3 決 算 の 概 要

1 歳入歳出決算の状況

(1) 一般会計

ア 歳入

(単位:千円、%)

科目(款)	予算現額	収入済額	比較増()減額	収入率
使用料及手数料	1	599	598	-
国庫支出金	300	200	100	66.7
諸収入	5,680	10,567	4,887	186.0
計	5,981	11,367	5,386	190.1

歳入は、第7款使用料及手数料ほか2款であり、予算現額598万余円、収入済額1,136万余円、比較増額538万余円、収入率190.1%である。

歳入の主な内容は、

・諸収入のうち、財団法人自治体国際化協会助成金受入 1,030万円である。

なお、第12款諸収入(項:雑入)において、収入未済額(2,780円)が生じている。

イ 歳出

(単位:千円、%)

科目(款)	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	3,039,000	2,873,908	0	165,091	94.6

歳出は、第2款総務費の1項1目で執行しており、予算現額30億3,900万円、支出済額28億7,390万余円、不用額1億6,509万余円、執行率94.6%である。

執行内容は、

・都の行財政の基本的な計画及び総合調整、職員費等に要したものの

(項)知事本局費 (目)管理費 28億7,390万余円

である。

2 財産の管理状況

ア 財産

区分	平成18年度末現在高	平成17年度末現在高	増()減
1 公有財産			
出資による権利	1,166,000,000 円	1,166,000,000 円	0 円
2 物品	72 点	72 点	0 点